

天神川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（案）】

201001時点

～急流河川に備え、未来の営みを守るプロジェクト・「清流 天神川」流域治水対策の推進～

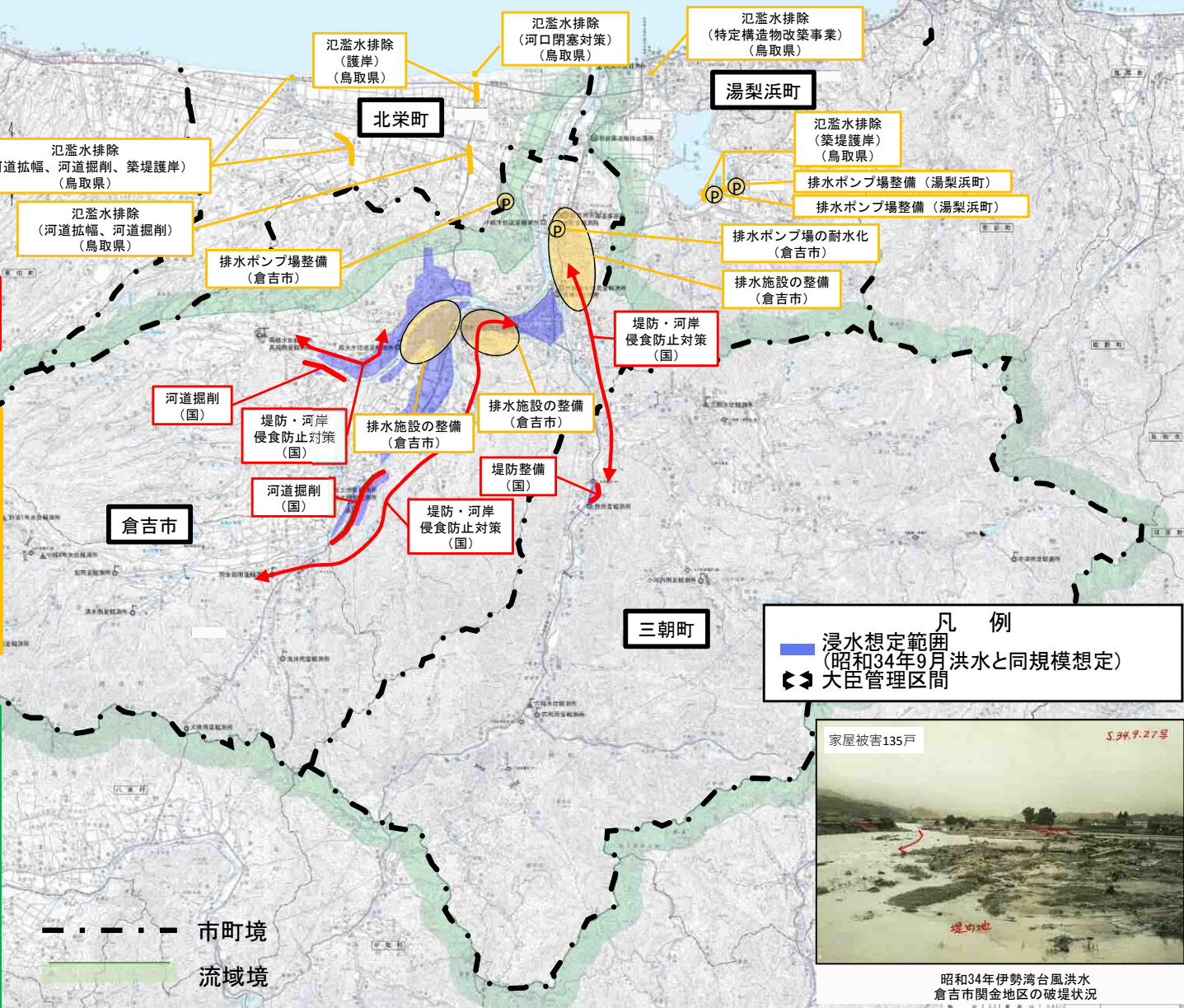
○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、天神川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の昭和34年伊勢湾台風と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



河川における対策
 対策内容 河道掘削、堤防整備、堤防・河岸侵食対策 等

流域における対策
 ・下水道等の排水施設（市町事業）、雨水貯留施設の整備
 ・中津ダムにおける事前放流の実施、体制構築（関係者：国、鳥取県）
 ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）
 ・排水ポンプ場の整備
 ・二級河川の河道拡幅、河道掘削、堤防護岸、河口閉塞対策による氾濫水排除 等
 ※今後、関係機関と連携し対策検討

ソフト対策
 ・水位計・監視カメラの設置
 ・支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり
 ・防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発
 ・あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供
 ・要配慮者が確実に避難できる避難計画作成等の支援
 ・感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備
 ・「洪水・土砂災害ハザードマップ」を活用したマイ・タイムラインの作成
 ・「まるごとまちごとハザードマップ」の実施
 ・ハザードマップの作成 等
 ※今後、関係機関と連携し対策検討



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。